

劇団東演

第一回公演

6月

六月二十五日(月)

七月一日(日)

俳優座劇場(555)

原案 白石稔

脚本 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

演出 藤田 浩

中津留章仁 松本祐子

沖縄を
どこへ
向かわせる
氣た!



中津留章仁の演劇は、沖縄の文化を背景とし、現代社会を批判的に描き出す。松本祐子は、その演劇の重要な要素の一つとして、沖縄の伝統文化を現代に引き継いでいく役割を担っている。この公演は、沖縄の文化を世界に紹介し、その魅力を伝えるための重要な試みである。中津留章仁の演劇は、沖縄の文化を背景とし、現代社会を批判的に描き出す。松本祐子は、その演劇の重要な要素の一つとして、沖縄の伝統文化を現代に引き継いでいく役割を担っている。この公演は、沖縄の文化を世界に紹介し、その魅力を伝えるための重要な試みである。

琉球の演劇



松本 結子 中津 留意仁 佐藤 大輔 佐藤 大輔 佐藤 大輔 佐藤 大輔 佐藤 大輔 佐藤 大輔 佐藤 大輔 佐藤 大輔 佐藤 大輔

江戸時代のみならず明治、大正、昭和、平成と近代日本の激動の時代に常に適応し位置に動い、やられ、形だけの末土俵復帰も事実的にならぬ変化することのない状況が続いている沖繩。懸崖絶壁の糸島すら見つけることのできていない今、ややもすると持論者を決め込む風潮に果たして日本に、いや私たちに語り得る未来はあるのだろうか。現代人が見失ってしまった心の拠り所は、いままや沖繩にこそあるのでは……。生きていく人たちの必死な闘いが踏みにしられる必こそ私たちの命そのものであり、踏みしめている命もまた命のように私たちの命として写ってしまうのだ。傍観者であることの罪、想像しようとしてない罪、未来を語らない罪……。私たちは今、どこで生きていくのだろうか！



●「琉球の風」は、琉球の歴史と文化をテーマにした、沖繩を舞台とした、現代劇である。
 ●「琉球の風」は、琉球の歴史と文化をテーマにした、沖繩を舞台とした、現代劇である。
 ●「琉球の風」は、琉球の歴史と文化をテーマにした、沖繩を舞台とした、現代劇である。

劇団東演
 琉球の風

2018
 6月25日(月)～7月1日(日)
 俳優座劇場 (六本木)

●5月14日(月) 呉市開演!
 [全席指定] 一般5,000円
 シニア4,500円(65才以上)
 学生3,000円(25才以下)
 ◎チケット35,000円
 (日本酒のフリードリンク1杯に前席)
 ●25、10才以下は観劇できません。
 ●先行予約開始日5月13日
 5,000円～4,000円
 (東演チケットセンター 03-3471-0304)

●お問い合わせ先
 劇団東演03-3419-2871
 〒100-0001 東京都千代田区千代田2-10-10
 http://www.east-act.com
 E-mail:info@east-act.com
 (東演チケットセンター 03-3471-0304)
 (東演チケットセンター 03-3471-0304)
 東演チケットセンター <http://www.east-act.com>
 オンラインチケット
 03-70-084-008 (LINE) 03-017-
 演劇専用
 03-70-000-4573(6:00～20:00)

公演	6/25	26	27	28	29	30	7/1
席 30,000	●	●	●	●	●	●	●
席 10,000	●	●	●	●	●	●	●



●劇場座席は江戸時代の本舞臺の形をとり、東芝4000名(全席指定)の座席が18席、バリアフリーの座席が、座席が18席、バリアフリーの座席が18席、座席が18席、座席が18席